様式第９

議　事　録

会　議　名	令和７年第２回知多警察署協議会（定例会）
日時・場所	令和７年５月 20 日（火）午後２時から午後４時まで
出　席　者	１　委員　７名（定数８名） 竹内　久幸　会長　大島　義史　副会長 深谷　昌弘　委員　星川　裕子　委員 森田　ひろ美　委員　工藤　幸一　委員 榊原　督　委員
	２　警察署員　８名 潮田　署長　吉田　副署長 口野　警務課長　森　会計課長 足立　生活安全課長　大村　地域課長 角谷　交通課長　高宗　警備課長
	３　有識者等 なし

１　会長挨拶
２　署長挨拶
３　幹部紹介
４　報告内容
(1) 管内の交通事故発生状況（交通課長）
(2) 管内の犯罪発生状況（生活安全課長）
(3) 前回の意見・要望に対する具体的な施策の推進状況
ア　前回の協議事項
自転車盗対策
イ　前回の意見要望
・ 駅構内で防犯の広報活動を実施すること
・ 盗難防止タグの取り付けを継続すること
・ ロック、ツーロックの日で住民と一緒に声掛け運動を実施すること
ウ　施策推進状況
・ ４月 30 日、知多翔洋高校の生徒と共に、寺本駅構内で広報を実施した。管内の各駅自転車置き場で、時間帯は不定期ではあるが盗難防止タグの取り付けを実施した。各駅無施錠の自転車が多いことから、盗難防止タグの取り付けを今後も継続実施する。

・　地元ボランティア団体の方と朝倉駅構内でロック、ツーロックの日の広報を実施した。
・　管内の高校において、看板設置をする等し、新入生と新任教師等に自転車盗難防止対策を呼びかけた。
・　管内各中学校で、少年係員が作成したチラシを配布するなどして自転車盗の抑止を呼び掛けた。
・　薬物乱用教室を実施した際、自転車盗難防止講話を実施した。
・　地元FM局で、自転車防犯に関する広報を実施した。
・　地域課警察官が積極的な職務質問を実施し、防犯と検挙両面から対策を継続しており、昨年の発生件数に比べ減少傾向となった。
・　アイチポリス（アプリ）には防犯機能がついており、同アプリの活用を呼び掛けた。

５　協議事項

効果的な採用募集活動について

６　発言の要旨

・　試験日、締切日、受験可能年齢が３５歳に変わったことなど、採用の条件を知らない人が多いと思われるので、SNSの活用、ポスター等を活用し、警察の採用条件で良い部分を広報すべきである。
・　最近では、安全に働ける環境や福利厚生を基準に仕事を選ぶ人が多いと思われる。子供の時に良いイメージを持っていても、大人になるまでに辛いイメージを持つことから、採用につながらないのではないか。
　SNSで先輩の声を伝え、インターンシップ制度を活用するなど、警察に対して良いイメージを持ってもらう必要がある。
・　自分の子供に警察官を勧めると、「怖いからなりたくない」との回答であった。警察官が怖いのではなく、仕事が辛いとか、けん銃を持っていることから怖い思いをするのではと考えてしまうようである。
　警察官という仕事の良い面を、もっと広報すべき。
・　そもそも採用募集していることや、締切日、受験可能な年齢を誰も知らないのではないか。採用試験の条件を知れば、もっと幅広い年齢層から「受験したい」という声が上がるのではないか。

７　意見・要望

(1)　インスタグラム等のSNSを活用した広報を行ってほしい。
(2)　採用ポスターの掲示場所を増やしてほしい。
(3)　警察業務への悪いイメージを払拭してほしい。

８　その他

次回開催予定は令和７年９月１日